

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年1月25日 水曜日

## リッチ・テキスト・エディタでHTMLを読み込むだけで元のHTMLが変更される

現行のOracle APEXは、[リッチ・テキスト・エディタ](#)としてCKEditor5を使用しています。

このエディタは読み込んだHTMLを編集するのではなく、一旦、内部的なモデルに従ったデータに変換し、変換したデータを編集します。HTMLからCKEditor5のモデルに変換する処理を[Upcast conversion](#)と呼んでいます。モデルからHTMLに変換する処理は[Downcast conversion](#)です。マークダウンの場合でも同様に、Upcast conversionでマークダウンから内部モデルに変換、Downcast conversionでモデルからマークダウンに変換しています。

このような仕組みなので、CKEditor5で記述していると危険なHTMLの記述が含まれる可能性は低く、より安全であるといえます。

しかし、生成されるHTMLはCKEditor5のGUIの機能に制限されますし、他のツールで記述したHTMLもCKEditor5を通すと、CKEditor5のモデルで表現できない部分は削除されます。

ただしこれでは使いにくい場合もあるため、Oracle APEX 22.2の新機能として、リッチ・テキスト・エディタにプロパティとして[カスタムHTMLの許可](#)（Allow Custom HTML）が追加されました。HTMLに記述されている属性（Attributes）、クラス（class）、スタイル（style）が保存の対象となっています。[初期化JavaScriptファンクション](#)を記述することにより、詳細な制御も可能です。

[https://ckeditor.com/docs/ckeditor5/latest/api/module\\_html-support\\_generalhtmlsupport-GeneralHtmlSupportConfig.html](https://ckeditor.com/docs/ckeditor5/latest/api/module_html-support_generalhtmlsupport-GeneralHtmlSupportConfig.html)

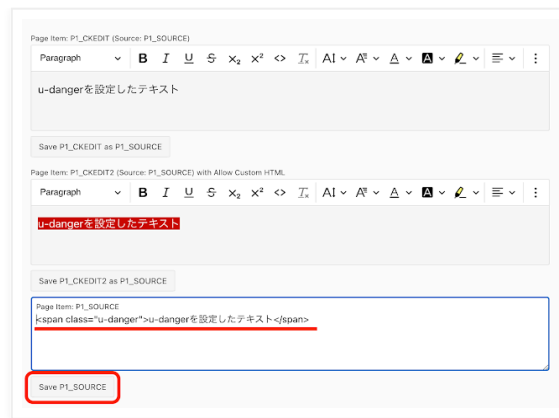
CKEditor5によって保存されるHTMLを確認するためのAPEXアプリケーションを作成しました。

<https://apex.oracle.com/pls/apex/r/japancommunity/ckeditor5-test/>

一番下のページ・アイテムP1\_SOURCEに以下のHTMLを記述し、ボタンSave P1\_SOURCEをクリックします。

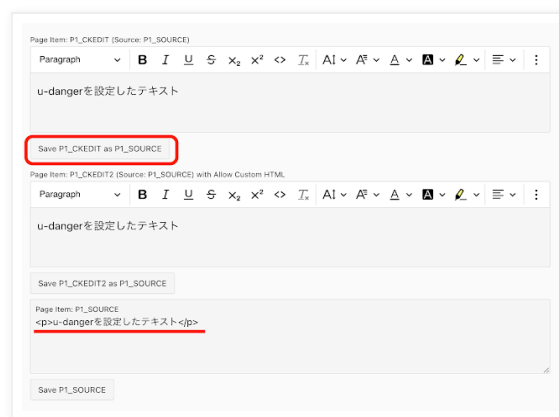
`<span class="u-danger">u-dangerを設定したテキスト</span>`

リッチ・テキスト・エディタのプロパティ[カスタムHTMLの許可](#)をONにしていると、classが削除されないためu-dangerの指定通りバックグラウンドが赤く表示されます。そうでない方のリッチ・テキスト・エディタでは、class指定は無視されます。

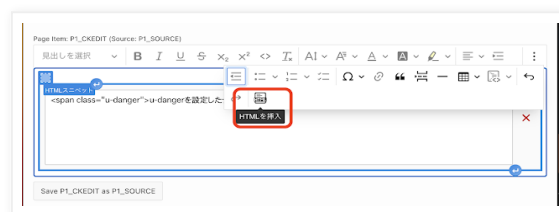


ボタンSave P1\_CKEDIT as P1\_SOURCEを押すと、classが削除されたデータが保存されます。そのため、ページ・アイテムP1\_SOURCEの値は以下に変更されます。

<p>u-dangerを設定したテキスト</p>

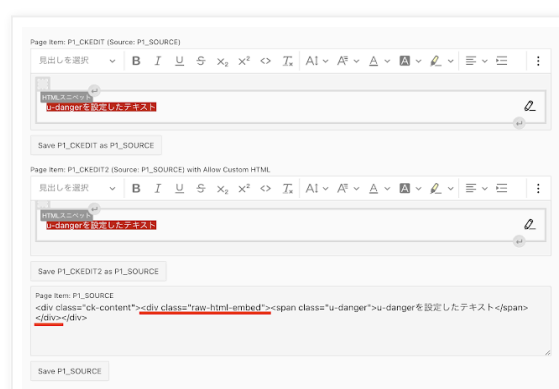


カスタムHTMLの許可をOFFのままHTMLの記述を維持するにはHTMLの挿入を呼び出し、HTMLスニペットとして記述します。



HTMLスニペットとして記述したHTMLは、CKEditor5によって変更されません。

HTMLスニペットは<div class="raw-html-embed">の子要素になります。



この記事で使用しているAPEXアプリケーションのエクスポートを以下に置きました。  
<https://github.com/ujnak/apexapps/blob/master/exports/ckeditor5-test.zip>

APEXアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 13:43

共有

---

◀

ホーム

▶

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---